

<読者投稿>

川合市長の人事問題について

(2008年6月10日)

本紙が先月より連続的にお伝えしている、川合市長による川越市役所「平成21年度人事」の条例違反疑惑について「川越市民より」なる読者から投稿を頂戴した。

「行政調査新聞への市の職員と思われる人物からの投稿は、市側としては大きな墓穴を掘ったのではないですか？」とのご指摘だが、実は本紙、川越市職員課に取材した際、対応した職員はくだんの投稿要旨を一瞥し「誰がこんな投稿を貴紙に送ったのか。正直言って困る」と当惑を隠さなかった様子を間近で確認している。あえて記事には書かなかったことだが、投稿者の慧眼に本紙は驚きを隠せない。「川越市民より」様は「あの投稿を寄せた人物は、実は市長自身だったのでは？」と推測されてもいるが、これに関しては本紙は「その可能性もある」という以外、コメントを差し控えたい。

以下に「川越市民より」様からの投稿をご紹介します。(改行のみ本紙。原文ママ)

行政調査新聞社様

6月7日のインターネットの記事を読ませていただきました。

私の記憶では、川合市長の初登庁が2月9日だったと思うのですが、川合市長が元々市の職員であったのならばまだわかりますが、たった1ヶ月くらいで全員とは言いませんが職員の事を把握するのは不可能です。職員の名前や顔もわからない状態で人事なんかには手をつける事ができるのでしょうか。

しかし、川合市長はどうしても人事を変えなければならなかったのでしょうか。変えなければいけない何かの理由があったのでしょうか。選挙時に支援してもらった有力人物や議員、市の職員の中の自分のよく知る上級職員もしくは、川越市のOBで現在でも市の裏側での発言力がある人物の力を借りて人事を行ったのか、いずれにしても、舟橋、細田両氏に対する報復人事の共同作業の中心人物として川合市長が人事権の指揮をとったことは間違いないことでしょう。

私は川越で生まれ育ち、職場も川越です。学校の同窓で川越市役所に勤めている友人を何人ももっています。ですから、選挙時に川合氏を支援していた職員や上級職員そしてOBの顔を頭に想像しながら「あの人じゃないのかな。」と何人かの予想はつきます。なんだかんだ言っても川越は狭い町ですから。

今回、問題の記事〔管理職手当に関する規則の改正〕を平成21年3月26日に起案しています。そして決裁を3月31日に行い、24時間も経たずに4月1日から施行となっています。そして昇格したB氏ですが、3月31日に辞令を言い渡されて次の日に会計室副室長から会計室長に昇格しています。同じ会計室という部署なので、たいした引き継ぎなどはいらないのかもしれませんが、一般的な企業では人事異動の辞令は前日に行われると言うことはありえません。ましてや、市役所という公の機関にもかかわらず、やはりどう考えてもおかしすぎると思います。

私は行政に関係しているわけでも詳しいわけでもありませんが、拙速に手を付けた人事の違法行為を行政調査新聞に暴かれ、慌てて市の体制を繕うために急いで公文書を作成したとしか思えません。市が規則を改正するのに短期日で、あつという間に変えてしまい市民に告知する大切な責任も果たさず、ひたすら施行に突っ走る行為は、あまりにも杜撰にすぎると思います。こんな非常識な規則の改正を信じる市民はいないと思います。市の行政にはかならず逸脱してはならない常識というものがあるはずです。条例や規則を違反し、それが「バレル」と慌てて文書を作成してまで違法行為を貫き通そうとする市民不在の川合新体制は、川越市民にとって実に危険で要注意と言わなければなりません。

行政調査新聞への市の職員と思われる人物からの投稿は、市側としては大きな墓穴を掘ったのではないですか？行政調査新聞が読者投稿に対しての反論記事と今回の記事を読んでそのことがわかりました。

「管理職手当に関する規則」は、インターネットに5月26日に掲載された「川越市庁舎騒然！川合“弁護士”新市長による重大な条例違反！！」の記事を見て慌てた川合市長らがこの規則の改正案を作成し、そして改正したことをあたかも行政調査新聞の記事が掲載される前から「既に規則を改正してますよ。」と言わんばかりに、市長派の上級職員かOB連中、または、市長の影の人物、まさか市長！？が行政調査新聞に投稿したのでしょうか。その投稿をした時点では既に、「管理職手当に関する規則」は、部課長の印をとり日付も4月1日からの施行となっていると

いうことを公文書として残したのだと思います。いや、間違いありません。川越市役所にいる友人も苦笑しながら「バレバレだよな。」と言っているくらいです。今回の一連の記事をよく読んでみるとわかります。あれは、絶対に日付を改ざんして作った規則の改正文書です。これは、川合川越市長による公文書偽造という犯罪行為であると疑われて当然だと思います。

私は川越市川合体制のやり方に本当に、はらわたが煮えくりかえる思いでいます。なぜ、市民の公僕であるはずの市長をはじめとする市の職員達は、少し考えれば嘘や公文書の偽造行為だと疑われるような行為をしたのでしょうか。我々市民だって馬鹿じゃありません。

今回のこの問題は、市役所の上級職員達がインターネットに5月26日に掲載された記事の指摘以降に公文書を作成して事を済まそうとしたことがよくわかります。このような身勝手な事を我々の税金で行っているのかと思うと、とても不愉快でなりません。他にも私のような気持ちになっている市民は大勢いると思います。こんな思いをさせる川合市長は、許せませんしすぐにでも辞任するべきではないでしょうか？

私はもう何ヶ月も前になりますが、市長選で川合氏に票を入れたことを今になってとても悔やんでいます。市民一人一人の市政に対する意識がとても大事なことが、川合市長となった今ようやくわかり始めたところです。私の職場でも最近、行政や政治のことを話すようになりました。職場の同僚達も皆、恥ずかしい話ですが行政や政治には無関心な連中でしたが、皮肉にも川合市長となってから私をはじめ、みんな関心を持つようになったようです。サークル活動とまではいきませんが、それに近いようなことも始まりつつある我が職場です。

今後の行政調査新聞の活躍を期待したいと思います。

川越市民より